

【「もっと横浜」プロジェクト特別講演会】

海から見た共生の思想

—群島のカマアイナ(同胞)を求めて—



講演者

imafuku ryuta

今福龍太氏

(文化人類学者・批評家、東京外国語大学教授)

講演者紹介：1955年、東京に生まれ、湘南で育つ。専攻は文化人類学、文化批評。カリフォルニア、メキシコ、カリブ海、ブラジル、沖縄・奄美などを移動しながら批評活動を展開。『クレオール主義』（増補版、ちくま学芸文庫）、『感覚の天使たちへ』（平凡社）、『ここではない場所』（岩波書店）、『群島-世界論』（岩波書店）ほかの著書がある。

横浜の港の向こうにひろがる太平洋、そしてアメリカ——。

ナショナリズムでもなく、アメリカのグローバリズムやTPPでもなく、

エペリ・ハウオフアなどの太平洋の群島思想家の共生思想に着目し、

日本を含む東アジア、太平洋島嶼^{とうしよ}の視点から〈共生の未来形〉〈群島的可能性〉を考える。

※ジャパニーズ・アーキペラゴ（日本という群島）を代表する国際港都である横浜。その横浜に位置するこの大学において、真に共生社会のありかたや、国際性の意味について考えてみたい学生・院生は必聴。

2013年11月13日（水）14:45～16:30（14:20開場）

会場：横浜国立大学附属図書館メディアホール 一般の方も参加いただけます

主催：横浜国立大学教育人間科学部「もっと横浜」プロジェクト（本講演会担当：川添裕）